

令和8年度から

「こども誰でも通園制度」が

はじまります！



【こども誰でも通園制度とは？】

すべてのこどもの育ちを応援し、こどもが健やかに成長できる環境を整えるとともに、すべての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらず形での支援を強化するため創設された新たな通園制度です。

【対象者】

日野町在住の生後6か月～2歳児（3歳の誕生日を迎えた後最初の3月31日まで）

※保育園等に通っていないこどもが対象です。

【利用日時】

火曜日、木曜日

9時～11時（祝日、年末年始を除く）

※こども1人当たり月10時間の枠内で柔軟に利用可能です。

※1時間単位で申し込んでください。

【利用料金】

1人1時間当たり 300円

【実施園】

日野町立認定こども園

桜合こども園 第2園舎

（日野町大字北脇988番地）

ご利用の流れ、詳細につきましては、日野町ホームページ等をご確認ください。



町ホームページ

日野町立幼稚園休園のお知らせ

平素より、地域の皆様、保護者の皆様には日野町立幼稚園の運営に多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、これまでから左記の町立幼稚園は、地域の子どもたちの幼児教育機関として開園以来、多くの皆様に愛され園の運営を行ってまいりました。しかしながら、近年の少子化・核家族化や就労形態の多様化等に伴い、保育ニーズが高まり、長時間保育の需要が増加しています。

低年齢からの保育需要により、在宅保育の減少、また、3歳児から幼稚園に入園する児童数も大幅に減少し、一定の集団規模の中で互いに育ち合い自主性を育む質の高い幼児教育の実現が困難な状況となつてまいりました。

こうしたことから左記の町立幼稚園においては、令和8年度以降の園児の入園を行わず、令和8年4月から休園することとし、令和9年3月末日をもって閉園する予定としています。

入園をご検討いただきました保護者の皆様には、こうした状況となつたことについて、心からおわび申し上げます。町の子どもたちが互いに育ち合う環境の大切さを最優先に、一定の集団での幼児教育・保育に取り組んでいくことが重要であることを改めて認識し、判断させていただきます。

住民の皆様にご愛されてきた歴史ある幼稚園を閉じることは誠に残念ではありますが、こうした諸事情をご賢察のうえ、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

【休園する幼稚園】

日野町立西大路幼稚園
日野町立南比都佐幼稚園

【休園する期間】令和8年4月1日(水)～令和9年3月31日(水)

【閉園予定日】令和9年3月31日(水)

◆問い合わせ先 子ども支援課 子ども支援担当

☎0748-52-6583



子ども支援課

就学前の子どもとその家庭が安心して子育てできるよう、園・学校・関係機関と連携しながら相談や支援を行っています。

子どもへの大切な大人の関わりは
安心・共感・見守りを土台にした関係です。

子どもにとって、まわりの大人は「安心できる存在」であることが何より大切です。うれしい気持ちも、困った気持ちも、そっと受け止めてもらえることで、子どもは心を開いていきます。やってみたい気持ちを大切に、急がせず見守る関わりは、自分で考える力や自信につながります。うまくいかないときも「大丈夫だよ」と寄り添うことで、子どもはまた一歩踏み出せます。温かなまなざしと日々の関わりが、子どもの育ちをやさしく支えていきます。



就学前の子どもは、遊びや生活の中で自ら考え、感じ、試みます。学びは教え込むものではなく、好奇心を尊重し、安心できる関わりの中で育つ力。未来へつなげる土台を育みます。人と関わり、言葉や表現の芽を伸ばし、生きる力の基礎を築きます。子どもは日々学んでいます。

毎日の遊びが**生きる力**となり、未来を育てます。
今、この時期を大切に。



入園・進級や就学を迎えるこの時期、子育てや成長について
気になることがあれば、一人で悩まずご相談ください。

学校教育課

～夢と志をもち、共に育ち共に生きる、活力ある人づくり～

教師には、子ども一人ひとりの学びを最大限に引き出し、主体的な学びを支援する伴走者としての役割が求められています。その役割の充実のためにさまざまな研修等を行いました。その一部を紹介します。

先進地視察研修

子どもが主体的に学ぶ学校を目指して、各校のリーダーを集め、先進的な教育実践を行っている県内外の小学校・中学校を視察しました。

参加した先生からは「子どもは一人ひとりいろいろな考えをもっている。その考えをうまくつなげ、互いに学び合えるように授業を進めていることが印象的でした」といった感想がありました。



子どもの学びがわかる掲示板

不登校児童・生徒の支援に関する研修

子どもや保護者に寄り添った不登校支援の実現のために、各校の先生方と一緒に研修会を行いました。学校と関係機関がチームを作り、知恵と力を合わせて、『誰一人取り残さない』教育の実現のために取り組みをすすめていきます。



コミュニティ・スクール合同会議

町内の6つの小・中学校では、「コミュニティ・スクール」を設置し、地域と学校が力を合わせて学校の運営に取り組んでいます。その取り組みのさらなる発展をねらい、各校の運営委員が一堂に会し、実践を交流する会議を実施しました。参加者からは「地域の多くの人が自分の技量を生かして学校に関われれば、学生だけでなく大人の学びの拠点にもなると思います。それをつなぐ活動ができればと思います」との意見が寄せられました。



実践交流をしている様子